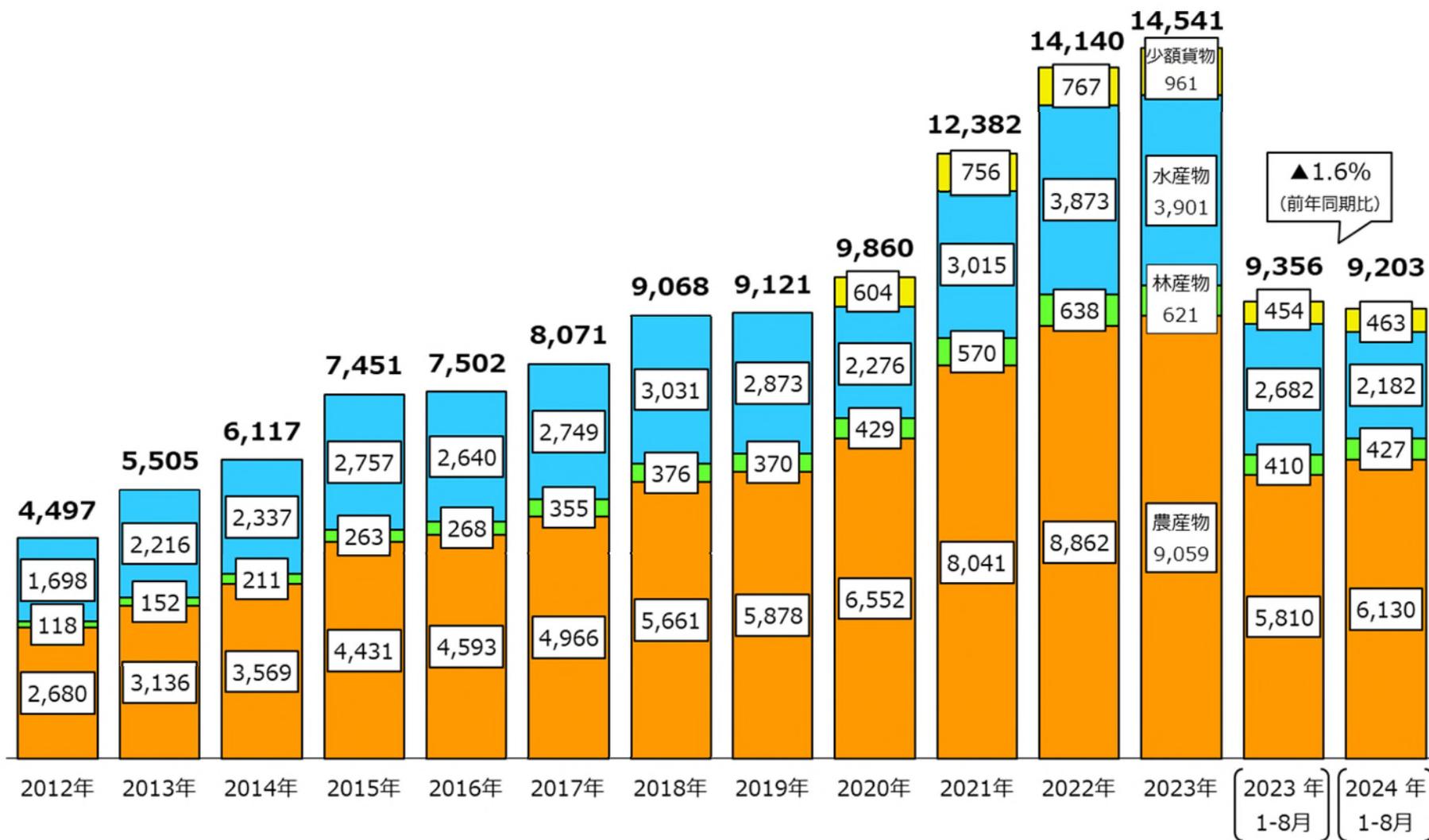


# 農林水産物・食品 輸出額の推移

(単位：億円)



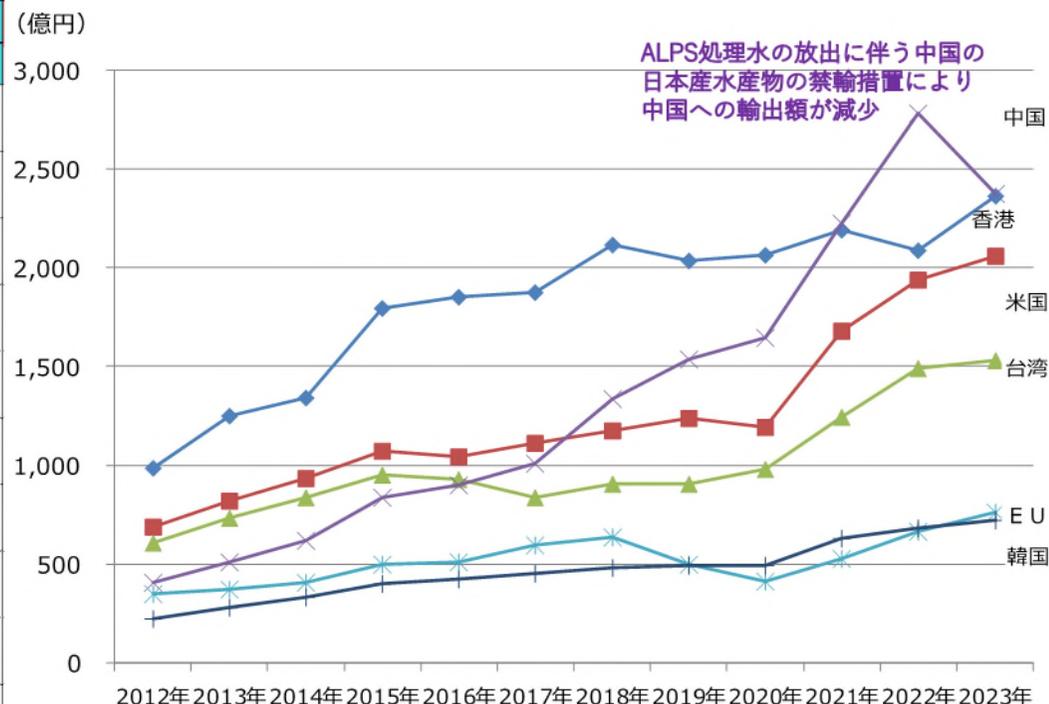
# 国・地域別、農林水産物・食品の輸出額

- 国・地域別で見ると、**米国、香港、中国**への輸出が4割強のシェア。
- 今後これらの国・地域以外のアジア、所得の高い北米や欧州諸国等にも輸出を拡大できる可能性。

## 上位10カ国輸出先国・地域別内訳（2024年）

順位	輸出先	2024年1-8月（累計）					
		輸出額 （億円）	金額 構成比 （%）	前年 同期比 （%）	輸出額内訳（億円）		
					農産物	林産物	水産物
1	アメリカ合衆国	1,507	17.2	+14.6	1,020	47	441
2	香港	1,343	15.4	▲ 11.0	812	9	522
3	中華人民共和国	1,052	12.0	▲ 41.4	799	210	42
4	台湾	997	11.4	+9.8	762	28	208
5	大韓民国	559	6.4	+19.0	380	25	154
6	ベトナム	534	6.1	+21.9	327	4	203
7	タイ	403	4.6	+15.9	188	7	209
8	シンガポール	359	4.1	▲ 1.1	302	4	53
9	オーストラリア	216	2.5	+7.2	193	2	21
10	オランダ	189	2.2	+18.6	167	5	17
-	E U	572	6.5	+17.3	498	14	60

## 輸出先国・地域別輸出額の推移



# 農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）の取組

- **GFP（ジー・エフ・ピー）** は、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称。農林水産省が推進する**日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクト**。
- 平成30年8月31日に農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る「**GFPコミュニティサイト**」を立ち上げ。
- 当該サイトに登録した者を対象に、農林水産省がジェトロ、輸出の専門家とともに輸出の可能性を無料で診断する「**輸出診断**」を平成30年10月から開始。



## GFP登録者へのサービス提供

- **農林漁業者・食品事業者へのサービス**
  - ・ 専門家による無料の輸出診断
  - ・ GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
  - ・ GFPビジネスパートナーの紹介等による支援
  - ・ 輸出のための産地づくりの計画策定の支援
  - ・ メンバー同士の交流イベントの参加
  - ・ 規制情報等の輸出に関連する情報の提供
  - ・ セミナー等を通じたGFP登録者の優良事例の共有
  - ・ 過去のセミナー動画のアーカイブ化による輸出ノウハウの提供
- **輸出商社・バイヤー・物流企業へのサービス**
  - ・ GFPコミュニティサイトで事業者同士が直接マッチング
  - ・ GFPビジネスパートナーの紹介等による支援
  - ・ メンバー同士の交流イベントの参加
  - ・ 規制情報等の輸出に関連する情報の提供
  - ・ セミナー等を通じたGFP登録者の優良事例の共有
  - ・ 過去のセミナー動画のアーカイブ化による輸出ノウハウの提供

## GFPの登録状況（9月末時点）

GFP登録者の内訳

区分	登録者数
農林水産物食品事業者	5,360
流通事業者、物流事業者	4,358
合計	9,718

GFP登録者数の推移



# 中国四国地域におけるGFP登録状況

- ✓ 中国四国地域におけるGFP登録数（令和6年9月末現在）は794事業者（中国428、四国366）。
- ✓ このうち訪問診断を申し込んだ登録事業者に対する訪問診断は、令和6年9月末までに86事業者（中国55、四国31）に対し実施。

【GFPの登録状況（令和6年9月末現在）】

		登録数 (比率)
登録事業者		794
農林水産物 食品事業者		574 (72%)
	うち、輸出診断 申込み数	78 (10%)
	うち、訪問診断 申込み数	88 (11%)
流通事業者、物流事業者等		220 (28%)

【訪問診断事業者内訳（令和6年9月末現在）】

品目	訪問 事業者数	輸出取組の有無	
		有	無
農産物/ 農産物加工食品	42	11	31
畜産物/ 畜産物加工食品	5	4	1
水産物/ 水産物加工食品	21	9	12
その他加工食品	12	8	4
酒類	6	5	1
合計	86	37	49

## 【輸出診断の概要】

- ・ 事業者のレベルに応じたアドバイス。
- 「何を、どこに、誰に」売るかを明確にすべき。
- まずは商談会に参加すべき。
- 支援策や課題の問い合わせ先を紹介。
- 検疫や商談会の情報を提供。

## 【事業者の声】

- ・ 各種支援策や検疫、商談会等の情報が得られてよかった。
- ・ 農水省、JETRO、県との課題共有は収穫。
- ・ 行政、植物検疫協会等との人的つながりができてよかった。
- ・ 人脈を広げて事業者間で情報を得たいので、GFPコミュニティの取組に期待する。

# あなたを、 生産者の 日本代表にしたい。



1億人ではなく、  
100億人を見据えた  
農林水産業へ。

四季の豊かなこの国で、だれかを喜ばせたい一心で取り組む生産者のみなさんへ。  
海外各国からのニーズが大きくなっている今、みなさんと輸出の成功事例をつくっていきたい。  
このコミュニティにぜひ参加して第一歩を踏み出しませんか。農林水産省が全力でサポートします。



こんな方に最適です！

- 輸出をしたいけど、どうしたらいいかわからない！
- ビジネスパートナーを探したい！
- 輸出に関わる情報を効率よく入手したい！

GFPを通じた成約事例も続々と出ています！

登録  
無料

参加を希望する方はまずはメンバー登録を。

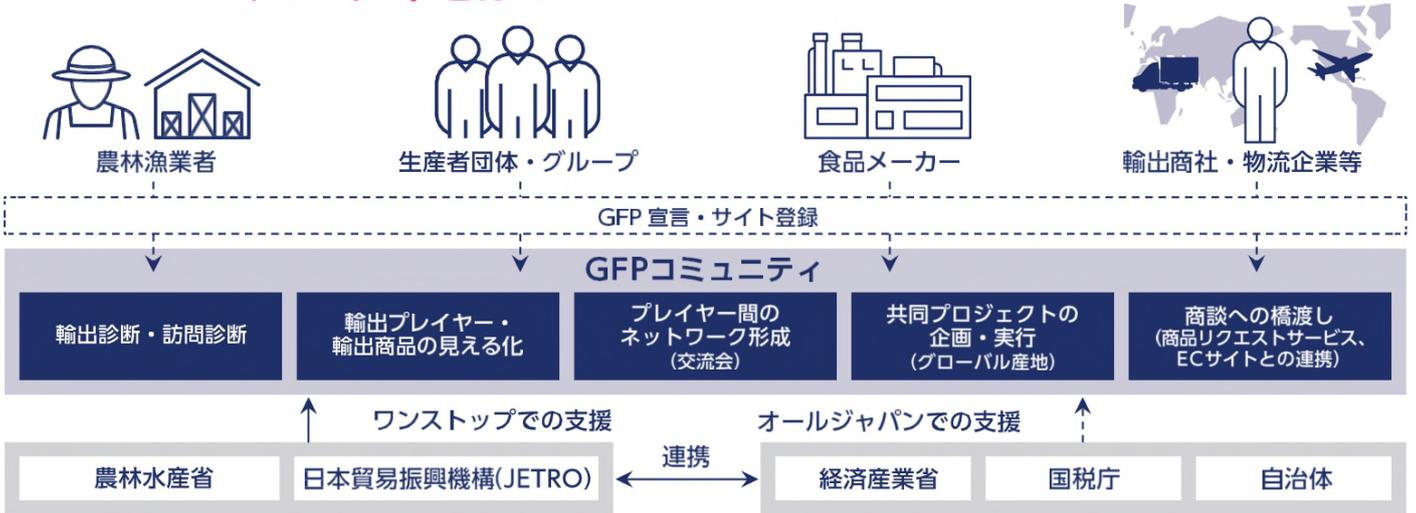
WEB : <http://www.gfp1.maff.go.jp>

問い合わせ先：農林水産省 GFP事務局 Mail : [gfp@maff.go.jp](mailto:gfp@maff.go.jp)



農林水産省

# 1 GFPコミュニティとは？



- 輸出は、国内出荷と異なり、様々な手続き・規制・言語のハードルや独特の商流が存在し、個々のプレイヤーでは継続的な成果を出すのが困難です。
- こうした課題を乗り越えるため、個々のプレイヤーがビジネスパートナーを見つけ、商談への橋渡しを行うサイトを構築します。
- 併せて、これらのコミュニティでの取組みに対して、行政・JETRO等が一体となって、ワンストップの支援を提供します。

# 2 GFP登録事業者

農林水産物・食品の輸出に意欲的に取り組もうとする事業者(生産者、食品加工メーカー、商社、物流企業、金融機関など)

# 3 サービス詳細

- 輸出診断・訪問診断**  
農林水産省がJETRO、輸出専門家とともに、生産現場等に訪問またはオンラインにて「輸出の可能性」を無料診断します。
- 訪問診断実施者フォローアップ**  
各登録者の課題解消に向けて、GFPビジネスパートナーマッチング・デジタルカタログ・輸出塾等を通じてサポートします。
- GFPコミュニティサイト**  
各登録者が、自分の商品やサービスをGFPサイトのマイページで発信したり、気になる事業者に直接コンタクトできます。
- 商品リクエスト**  
輸出商社等が現地ニーズに基づく「商品リクエスト」を発信し、生産者との商談につなげるサービスです。
- グローバル産地づくり推進事業**  
輸出先国のニーズと規制等に対応し、積極的に戦略を持って輸出への取組を行う産地形成を支援する事業です。
- 交流会・セミナーの開催**  
情報交換、交流、知識の習得を目的としたセミナー等、多様なイベントを開催します。
- 情報発信**  
会員限定メールの配信、Facebook GFP関連の情報発信、GFP登録者の発信のシェア等を随時行っております。  
Facebookでも輸出診断の様子を紹介しています。

## GFPコミュニティサイトイメージ



## GFPデジタルカタログ (商談資料)



# 「フラッグシップ輸出産地」認定証授与式の開催について

- 中国四国農政局では管内で5産地が「フラッグシップ輸出産地」に認定されたことから、香川県、徳島県及び愛媛県において認定証授与式を開催しました。(2024年9月)

## 〈 香川県 〉

- ・高松盆栽輸出振興会(盆栽)



## 〈 徳島県 〉

- ・徳島阿波尾鶏ブランド確立対策協議会(鶏肉)
- ・株式会社農家ソムリエーズ(かんしょ)



## 〈 愛媛県 〉

- ・赤石五葉松輸出振興組合(盆栽)
- ・えひめ愛フード推進機構(かんきつ)



## フラッグシップ輸出産地とは？

海外の規制やニーズに対応して継続的に輸出に取り組み、輸出取組の手本となる産地を「フラッグシップ輸出産地」として認定します

## 産地認定のメリット

- ・各種支援措置を優先的に実施(令和7年予算概算要求)
- ・大臣名の認定証を授与
- ・産地間交流会や海外バイヤー等との商談会開催
- ・各種媒体を活用した国内外への情報発信等

# フラッグシップ輸出産地向け優遇措置（R7予算概算要求）

## 優先枠の設定

### サプライチェーン連結強化プロジェクト事業（新規）

国内の生産事業者と海外の現地販売事業者、両者をつなぐ国内外の商社等で構成されるコンソーシアムが行う、生産から現地販売までの一気通貫した新たなサプライチェーンの構築に向けた取組を支援

➤ フラッグシップ輸出産地を含むコンソーシアムに優先枠を設置

## 補助上限額の上乗せ

### 大規模輸出産地モデル形成支援事業

海外の規制・ニーズに対応した生産・流通体系への転換を通じた輸出産地のモデル形成等を支援

➤ フラッグシップ輸出産地に認定された産地が更なる輸出拡大に向け新たな取組を行う場合は、補助上限を引き上げて支援

## 食料システム構築計画のみなし認定

### 新基本法実装・農業構造転換支援事業（強い農業づくり総合支援交付金）（新規・拡充）

実需者と産地をつなぐ拠点事業者と農業者が協働して策定する食料システム構築計画に基づく取組について、ソフト支援から施設整備まで一体的に支援

➤ 「食料システム構築計画」に代えて、フラッグシップ輸出産地における「輸出事業計画」に基づく取組を支援

## 優先採択（ポイント加算等）

### 1 みどりの食料システム戦略推進交付金のうち

#### ◎ グリーンな栽培体系加速化事業

産地に適した「環境にやさしい栽培技術」等を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換を加速化するため、産地に適した技術を検証し、定着を図る取組を支援

#### ◎ 有機農業拠点創出・拡大加速化事業

有機農業の推進拠点となる地域（オーガニックビレッジ）を創出するため、生産から消費まで一貫して有機農業を推進する取組の試行や体制づくり、産地と消費地が連携した消費拡大の取組等を支援

#### 2 ○ データ駆動型農業の実践体制づくり支援

データに基づき栽培技術・経営の最適化を図る「データ駆動型農業」の実践を促進するため、産地としての取組体制の構築、データ収集、分析機器の活用、新規就農者の技術習得等を支援

#### 3 ◎ オープンイノベーション研究・実用化推進事業

国の重要政策の推進や現場課題の解決に資する研究成果を創出し、社会実装を加速するため、産学官が連携して取り組む基礎研究や実用化研究を支援

#### 4 ○ スマート農業技術の開発・供給促進事業のうち

##### スマート生産方式SOP（標準作業手順書）作成研究（新規）

主要な営農類型や技術体系ごとに、スマート農業技術の導入効果を着実に発揮させる栽培体系やサービス事業者を介した技術の運用方法等を検証し、標準化する取組を支援

#### 5 ◎ 農業農村整備事業

水田の汎用化・畑地化や農地の大区画化、新たな農業水利システムの構築等を推進

#### 6 ◎ 農地耕作条件改善事業

地域の多様なニーズに応じたきめ細かな耕作条件の改善、高収益作物への転換等をハードとソフトを組み合わせる支援

#### 7 ◎ 農地利用効率化等支援交付金

地域計画の目標地図に位置付けられた者が経営改善に取り組む場合、必要な農業用機械・施設の導入を支援

#### 8 ◎ 集落営農連携等強化促進事業

地域計画に位置づけられている集落営農の連携・合併に向けたビジョンづくり及びその実現に向けた具体的な取組（雇用、法人化、共同利用機械等の導入等）を支援

#### 9 ◎ 輸出先国規制対応支援事業のうち 国際的に通用する認証等の新規取得

輸出先国・地域が求める輸入条件への対応や、輸出手続を円滑に進めるために必要となる国際的に通用する認証等の新規取得に係る経費を支援

※ ◎ 輸出事業計画の認定を受けた者に対する優遇措置に加えて、フラッグシップ輸出産地に対し、追加的に優遇措置を設ける事業  
○ それ以外の事業

# 令和5年度輸出に取り組む優良事業者表彰（輸出・国際局長賞）

2023  
輸出・国際  
局長賞

## 株式会社にし阿波ビーフ （徳島県三好郡東みよし町）

・和牛  
ハラール  
完全対応

・マレーシア  
・インドネシア  
・サウジアラビア  
・UAE(予定)

## ハラール厳格対応で安心安全な和牛を世界展開

### 取り組み内容

- ハラールで厳格に決められたと畜方法で全頭処理できる環境を構築。海外規格の施設で、効率的に動線を確保、新鮮な食肉加工を実現した。
- 解体ラインに配置されるムスリム従業員に対して、日本の熟練技術者が丁寧に牛肉カット規格等の指導を行う。
- 週単位での作業サイクル（5日間と畜、加工、証明、出荷を完了）を実施し、働きやすさ・ゆとりを確保している。ムスリムも地域になじみ、住民との異文化交流を実施している。
- 地域の誇る有力事業として、自治体の手厚いサポートを受けている。県職員による証明書発行をスムーズに行うほか、町が廃水処理を支援している。



▲ハラールと畜専用食肉センター



▲マレーシアでのカッティングセミナー



▲ムスリム職人



▲ハラール認証の例

### <事業者の概要>

1. 所在地：香川県坂出市本町1-6-35
2. 代表者：代表取締役社長 鎌田 武雄
3. 主な品目：だし醤油、低塩だし醤油、にんにくだし醤油
4. 主な輸出先国・地域：米国、中国、韓国
5. 事業概要：1789年創業、1941年会社設立。1965年に「だし醤油」を開発。伝統を受け継ぎながらも、時代の変化に合わせて常に求められる味を追求している。近年は海外への販路拡大のため輸出業にも積極的に取り組んでいる。



だし醤油



本社社屋

### 【輸出の取組内容】

- 2001年、日本食の魅力・伝統的な食文化を諸外国に発信するため、北米への輸出を開始。現在は、米国、中国、台湾、ベトナムなど20カ国・地域にだし醤油、低塩だし醤油、にんにくだし醤油などを輸出。米国、オーストラリアに現地法人を設置。
- 諸外国のニーズに対応するため、ISO9001、HACCP、FDA認証を取得。
- 米国での通信販売や越境ECを活用し、海外の消費者への直接販売も実施。また、容器は地球環境に配慮した紙パックを採用。

### 【取組経緯】

- 当社の商品を求める海外赴任した通販顧客の声に応じて輸出を検討。
- 2001年、カマダ・カナダを開設し現地での通信販売を開始。
- 2005年、カナダからアメリカに拠点を移し(カマダ・カナダ開設)カマダ・アメリカを開設。

### 【課題と対応方法】

- 輸出先国への規制対応  
→ 輸出国ごとに規制が異なるため、輸出先国の規制対応に時間を要するが、食品安全マネジメントシステムの国際認証(FSSC22000)を令和7年までに取得予定。
- 品質保持への対応  
→ 容器に採用している紙パックは、賞味期限は十分長いものの、海上輸送が主な輸送方法で納品までに時間を要するため、製造後速やかに出荷・輸出。

### 【今後の事業展開】

- ✓ 輸出先国それぞれのニーズに対応できる商品の開発を進めてゆく。
- ✓ 現地での試食販売や催事を増やし、海外でのカマダ商品の認知度を拡大させる。
- ✓ インドネシアなどイスラム市場への輸出を念頭に置き、令和6年度中にハラール認証を取得できるよう取り組む。

### 【実績】

輸出額 (万円)		輸出国・地域割合 (%)	
2021年度	5,800	米国	53
2022年度	4,700	中国	11
2023年度	5,400	韓国	10

#### <事業者の概要>

1. 所在地：香川県高松国分寺町国分890-1
2. 代表者：代表取締役社長 河合 伸一郎
3. 主な品目：オリーブ牛（サーロイン、リブロース、ヒレ）
4. 主な輸出先国・地域：米国、シンガポール、香港など
5. 事業概要：1926年創業、1952年会社設立。食肉販売、食肉処理、そうざい製造、ソース類製造を実施。香川県ブランド牛であるオリーブ牛（オリーブ絞り粕を給餌）を2010年から取り扱う。



脂質の軽さが特徴のオリーブ牛 海外向けブランドのロゴ

#### 【輸出の取組内容】

- 2015年、ニューヨークで開催されたSummer Fancy Food Showに讃岐牛・オリーブ牛振興会、行政等とともに参加。2016年、米国、シンガポールへオリーブ牛の輸出を開始。その後も輸出ターゲット国の高級料理店で、オリーブ牛のカットプレゼンテーションや料理メニュー提案等を行い、小ロットかつニッチな販売市場への高価格帯販売戦略を推進。
- 現在では、オリーブ牛のサーロイン、リブロース、ヒレを米国・シンガポール等に輸出。現地レストランのシェフには、和牛の中でも特に高級な食材として取り扱われているところ。
- 海外での物流については、きめ細やかな対応が可能な海外に拠点を置く食肉専門店の商社及び専門店と連携して取り組んでいるところ。

#### 【取組経緯】

- 2015年にニューヨークでの和牛セミナー・食品展示会に参加し、カットプレゼンテーションやオリーブ牛の特徴を活かした料理メニューの提案を行い、好評を得る。
- 食品展示会から約3年後、販売店等の良好な人間関係を築き、輸出を軌道に乗せた。

#### 【課題と対応方法】

- 海外でのオリーブ牛の認知度の向上  
→ 米国への輸出開始から3年の年月をかけて、オリーブ牛のストーリー性（オリーブ絞り粕の飼料化・オリーブ牛の堆肥をオリーブ畑に還元等）を根気強く説明するとともに、物流について、アジア向けと北米向けの商流をそれぞれ1本化し、独自のブランディングを進めた。

#### 【実績】

輸出額（万円）		輸出国・地域割合（%）	
2020年度	2,100	米国	83
2021年度	2,700	アジア地域 (シンガポール、 香港等)	17
2022年度	4,000		

#### 【今後の事業展開】

- ✓ オリーブ牛の輸出拡大のため、讃岐牛・オリーブ牛振興会、県、JA香川県等と連携し、台湾等新たな輸出先国への輸出を目指す。
- ✓ 2023年度は台湾向けにランプ、内モモ、肩をサンプル出荷し、さらに、2024年度についてはアジア地域の炒める、煮るといった調理法を念頭に置き三角バラ、肩ロースを提案していく。



GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区一覧 (R5補正)

大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区一覧 (R6当初)

(広島県)

### HIROSHIMA Mitsu Bay Oyster 協議会(牡蠣)

＜HIROSHIMA Oysters、ファームスズキ、沖友水産等水産事業者が参画＞

- ▶ 人工種苗を活用したフランス式のブランド牡蠣大規模生産モデルへの転換を推進するとともに、広島空港の活用によりリードタイムの短縮を実現

(愛媛県)

### えひめ愛フード推進機構 (河内晩柑)

＜愛媛県、愛南町、JAえひめ南、生産企業等が参画＞

- ▶ EU向けの輸出を拡大するため、減農薬栽培の実証や残留農薬試験を実施

### 愛媛かんきつ輸出促進協議会 (かんきつ)

＜遠赤青汁、愛媛県、遠赤農園、西南セーフティグループ、清五郎農園が参画＞

- ▶ 改植等を進め、有機栽培など輸出用の産地を拡大するとともに、通年輸出を実現

(岡山県)

### 岡山備中ブドウ輸出産地育成協議会(ぶどう)

＜東山農園、中島農園、備中美味しいぶどう研究会 等が参画＞

- ▶ 耕作放棄地を再生し、輸出好適品種を導入し省力化樹形による栽培
- ▶ 地元の港湾、空港を利用したダイレクトな輸出ルートを確立

(香川県)

### 香川県 (麺類(県産小麦「さぬきの夢」を使ったうどん))

＜香川県、JA香川県、製粉会社、製麺会社等が参画＞

- ▶ うどん用小麦の新品種の作付け拡大を図るとともに、輸出用うどんの試作を実施。併せて混載による大ロット化や商品ラインナップの確保を通じて、輸送コストを低減

(徳島県)

### 徳島県 (かんしょ(なると金時))

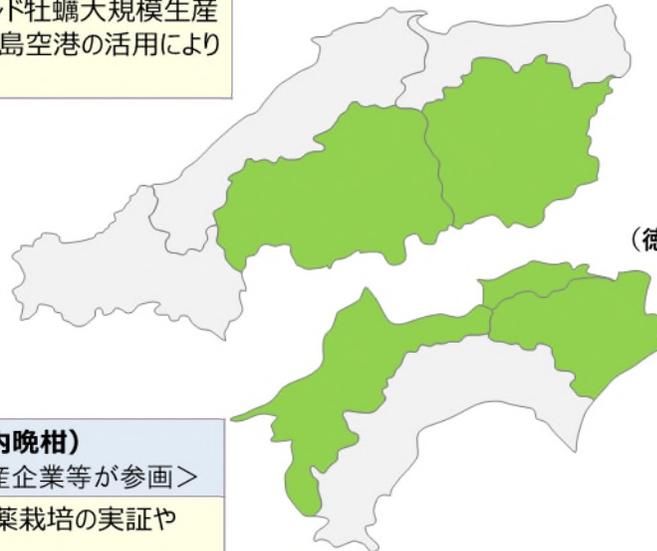
＜徳島県、世界市場、農家ソムリエーズ及び生産農家、NIPPON ICHIBA等が参画＞

- ▶ ロス率の低い系統の利用、小サイズを狙った密植栽培、減農薬栽培の実証等を行うとともに、強化ダンボールの開発により輸送効率を向上

### 徳島いちご輸出産地形成協議会 (いちご)

＜ヴェリタス(株)及び生産者、(株)世界市場、Nippon ICHIBA、徳島県 等が参画＞

- ▶ 使用農薬削減のための総合防除や台湾向けの防除暦での栽培を実証
- ▶ 予冷効率の高い資材を開発し、コールドチェーンを確立



# 輸出事業計画

## 輸出事業計画とは

- 農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律（令和元年法律第57号）  
（輸出事業計画の認定）

### 第37条

我が国で生産された農林水産物又は食品の輸出のための取組を行う者は、単独で又は共同して、**農林水産物又は食品の輸出の拡大を図るためこれらの生産、製造、加工又は流通の合理化、高度化その他の改善を図る事業に関する計画を作成し、農林水産省令で定めるところにより、これを農林水産大臣に提出して、その認定を受けることができる。**

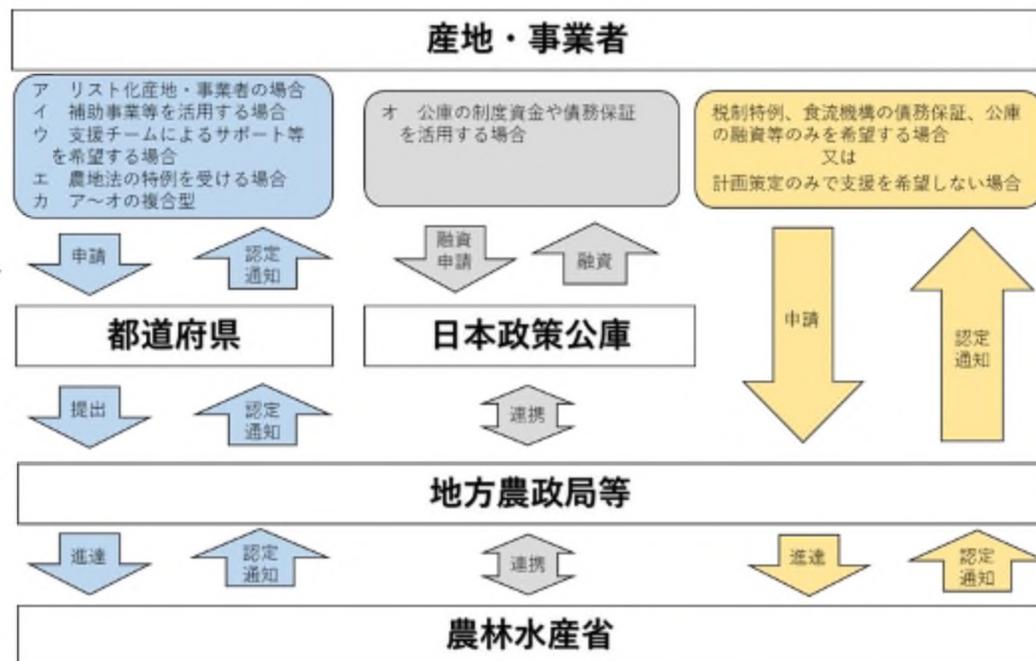
## 申請者の要件

- 輸出事業計画に基づく事業を的確に実施できる能力を有する個人、団体（輸出に取り組む意欲のある者であれば申請可能）
- GFP登録者であること

## 計画策定のポイント

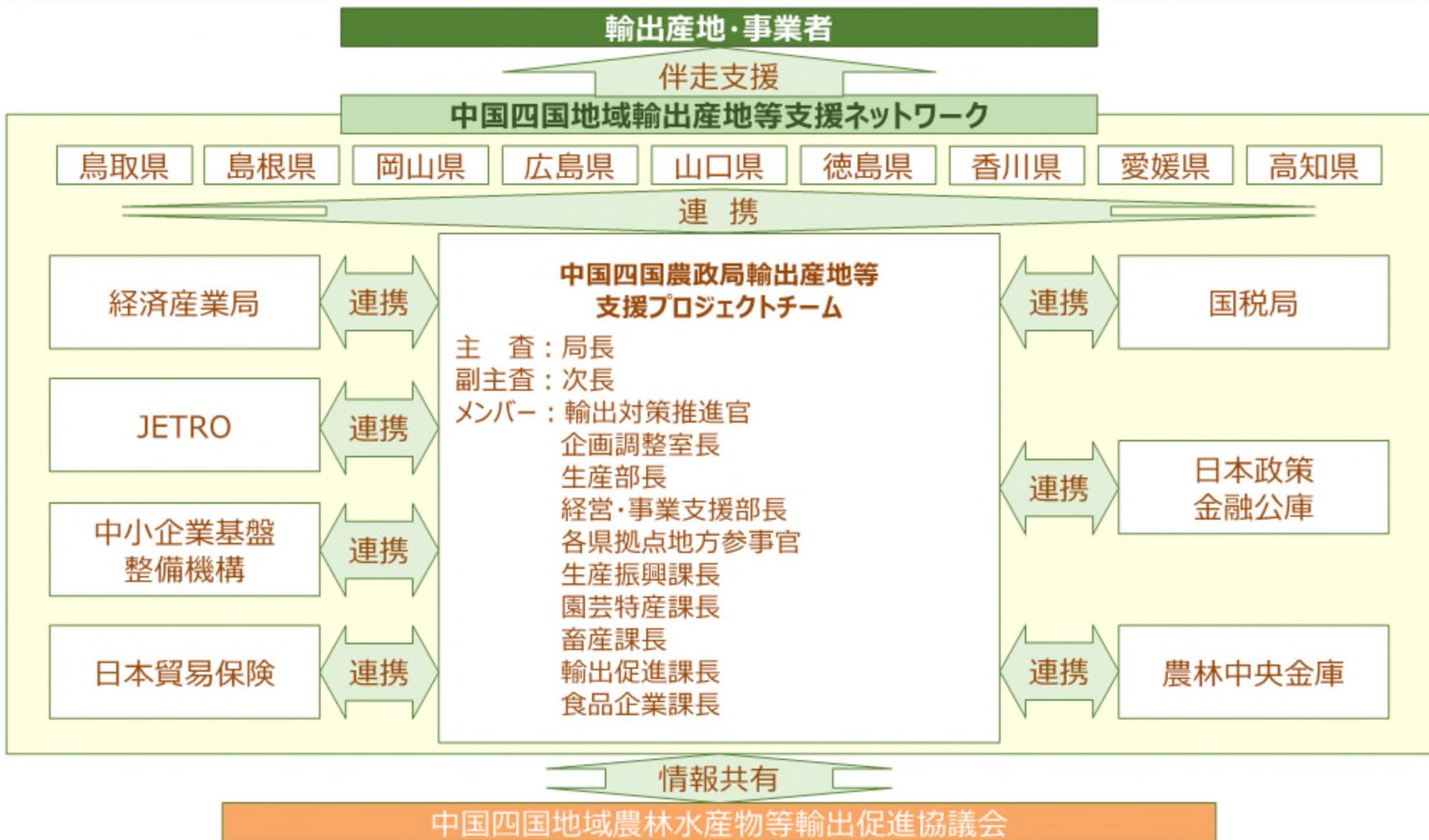
- **ターゲットとする輸出先国のニーズ**を具体的に把握すること
- **輸出に対応するための課題と取組**が明確な内容となっていること
- **目標年における輸出額の設定**が現在の商流と新たな商流の関係から適切な設定となっていること
- 輸出事業計画の策定、計画策定後の実証や策定した計画の見直しを行うため、輸出事業に関する知見を有する者と連携して、**PDCAサイクルを回せる体制**が整備されていること

## 申請手順



## (参考) 輸出産地・事業者の支援体制

- 輸出産地・事業者が輸出事業計画を策定・実行するにあたり、産地等に関係機関と連携した伴走型の支援を行うため、令和4年2月10日に中国四国地域輸出産地等支援ネットワークを設立。令和5年3月1日に体制を強化。



# 輸出事業計画の策定状況

令和6年9月末時点

中国地方

## 山口県（2事業者）

事業者名	品目	輸出先国
株式会社カン喜	冷凍かき・かきフライ・ 殻付かきグラタン等	台湾・香港・タイ・EU等
株式会社永野商店	フグミガキ・フグ白子	シンガポール・ オーストラリア

## 鳥取県（1事業者）

事業者名	品目	輸出先国
白バラ牛乳香港輸出プロジェクト コンソーシアム	チルド牛乳・ 乳製品	香港

## 広島県（8事業者）

事業者名	品目	輸出先国
広島県果実農業協同組合連合会	かんきつ・ぶどう	台湾・香港・マレーシア
株式会社マルサン	鶏卵・液卵	香港
オーシャンポイント株式会社	冷凍かき・かきフライ	香港・台湾・タイ
株式会社サクラオブルワリー アンドディスティラリー	酒類	米国・カナダ・EU・中国等
株式会社ますやみそ	味噌・調味食品	台湾・タイ
オタフクソース株式会社	ソース類他	米国・イギリス・イタリ ア・オーストラリア・台湾
センナリ株式会社	食酢・調味酢・ソース	イギリス・台湾・ アメリカ・フランス
寺岡有機醸造株式会社	醤油、醤油加工品	韓国・中国・アメリカ・イ ギリス・フランス・ドイツ

## 岡山県（5事業者）

事業者名	品目	輸出先国
室町酒造株式会社	酒類	米国・中国・香港・EU・シ ンガポール
江与味製材株式会社	製材	中国・韓国・台湾・ ベトナム
ヴィーガンフーズフレ ンドジャパン	農産加工食品・調理食品	香港・台湾・中国・シンガ ポール・アメリカ等
全国農業協同組合岡山 県本部	コメ	台湾、香港、アメリカ
瀬戸内エリア農林水産 物輸出推進協議会	青果物（もも）、農産加工品 （果汁ゼリー、果汁ジュース）	台湾、香港



## 愛媛県（12事業者）

事業者名	品目	輸出先国
えひめ愛フード推進機構	かんきつ	アジア・カナダ・EU等
愛媛県	水産物 (ブリ・マダイ等)	アジア・米国等
辻水産株式会社	水産物(ブリ・ マダイ等)	アジア・米国等
秀長水産株式会社		北米・アジア・EU等
株式会社南予ビージョイ 森松水産冷凍株式会社		北米・アジア・EU・中東・中南米
イヨスイ株式会社		北米・中国・韓国
株式会社ヨンキョウ	水産物(ブリ・ マダイ等)	米国・韓国等
株式会社ダイニチ		米国・香港・タイ等
株式会社宇和島プロジェクト		米国・アジア
朝日共販株式会社		タイ・台湾・米国・香港
愛媛県漁業協同組合	ブリ・タイ	米国・カナダ
森文醸造株式会社	醤油・たれ・つゆ・ 酢卵等	米国・ドイツ・フランス・ スイス・中国等

## 香川県（11事業者）

事業者名	品目	輸出先国
木桶仕込み醤油輸出促進コンソーシアム	醤油	米国・EU等
ヤマロク醤油株式会社	醤油	米国・EU等
大平やさい株式会社	レタス類	シンガポール・台湾
香川県漁業協同組合連合会	ぶり	米国・タイ・韓国・シンガポール等
株式会社木村海産	釜揚げしらす等	台湾・韓国・シンガポール等
鎌田醤油株式会社	醤油	米国・中国・韓国・台湾・ フランス等
香川県	RTE冷凍麺	アメリカ・カナダ・香港・台湾・ シンガポール
石丸製麺株式会社	麺類(麦加工品)	台湾・中国・韓国・香港等
株式会社JA香川県フードサービス	鶏卵	香港
有限会社キウイバードコーポレーション	キウイフルーツ・ キウイフルーツ加工品	シンガポール・香港
香川県農業協同組合 アイリスオーヤマ株式会社	バックご飯	タイ

## 高知県（1事業者）

事業者名	品目	輸出先国
サンライズファーム株式会社	ブリ・クロマグロ	台湾・香港・中国・米国等

## 徳島県（5事業者）

事業者名	品目	輸出先国
仲野産業株式会社	レンコン等加工食品	米国・台湾・香港・ シンガポール・豪州等
株式会社農家ソムリエーズ	かんしょ	台湾・香港・欧州・カナダ等
有限会社東海産	塩辛加工品・鶏肉	香港
株式会社世界市場 ヴェリタス株式会社	いちご	台湾
株式会社リブル	牡蠣	マレーシア

# 輸出重点品目

これまで日本から輸出してきた品目は多岐にわたっていましたが、それぞれの品目の輸出額は小さく、「日本ならではの」の強みを持つ製品のシェアが小さい状況でした。

そこで海外で評価される「日本ならではの」の強みをもつ29品目を「輸出重点品目」として設定しました。29品目それぞれにターゲットとする国や地域、具体的な輸出目標やそれに向けた課題を明確にし、その実現に向けたさまざまな取り組みを行っています。

コメ・パックご飯・  
米粉など



冷めても美味しい等の日本産米は寿司やおにぎり等に向き、日本食の普及とともに拡大が可能。

牛肉



和牛として世界中で認められ、人気が高く、引き続き輸出の伸びに期待。

豚肉、鶏肉



とんかつ、焼き鳥など日本の食文化とあわせて海外の日本ファンにアピールすることで、今後の輸出の伸びに期待。

製材



スギやヒノキは、日本式木造建築だけでなく香りの癒しの効果も人気で、今後の輸出の伸びに期待。

果樹(りんご、ぶどう、もも、かんきつ、かき・かき加工品)、野菜(いちご)



甘くて美味しく、見た目も良い日本の果実は海外でも人気。

鶏卵



半熟たまごが浸透し、生食できる卵としての品質が評価され、更なる輸出の伸びに期待。

合板



合板の加工・利用技術は、日本の得意分野。日本式木造建築とともに、今後の輸出の伸びに期待。

牛乳・乳製品



香港や台湾で品質が高評価。アジアを中心に輸出の可能性。

## 野菜(かんしょ等)



焼き芋がアジアで大人気。輸出が急増。

## 切り花



外国にはない品種に強み。輸出の伸び率が高い。

## 菓子



日本独自の発展を遂げ、他国にはない独創性。バラエティ豊かな商品とコンテンツの普及とともに海外で人気。

## ぶり



脂がのっている日本独自の魚種。近年、米国等への輸出額が増加。

## たい



縁起のよい赤色は中華圏でも好まれる。活魚輸出の増加に期待。

## ホタテ貝



高品質な日本産ホタテ貝は世界で高く評価。水産物では輸出額ナンバーワン。

## 真珠



真珠養殖は日本発祥。日本の生産・加工技術が国際的に高評価。

## 清涼飲料水



緑茶飲料など日本の味が人気となり、伸び率が高い。

## 茶



健康志向の高まりと日本文化の浸透とともに欧米を中心にせん茶、抹茶が普及。

## ソース混合調味料



カレールウなど日本食の普及とともに日本を代表する味に成長。

## 味噌・醤油



日本が誇る発酵食品。和食文化の浸透とともに欧米・アジア地域で人気も上昇。

## 清酒(日本酒)



「SAKE」は日本食のみならず各国の料理に合う食中酒等として世界中で認知が拡大中。

## ウイスキー



日本産品の品質が世界中でブランドとして定着。

## 本格焼酎・泡盛



原料の特徴を残すユニークな蒸留酒としての評価があり、今後の輸出拡大に期待。

## 錦鯉



日本文化の象徴としてアジア、欧州を中心に海外で人気。

# 令和5年度 中国四国地域の主な農林水産物・食品の輸出品目と輸出先

## 広島県

品目名	輸出先	(千円) 輸出額	輸出量
ぶどう	香港・台湾・シンガポール・カナダ	2,707	1.6 t
なし	香港、台湾	2,619	0.9 t
柑橘 (レモン)	マレーシア、シンガポール	744	1.9 t
鶏卵	香港	1,275,646	3,600 t
日本酒	フランス等	315,000	279 kL
牡蠣	香港、台湾、中国等	1,830,000	1,687 t

※ 広島県調べ

※ 日本酒は令和4年1～12月のデータ、牡蠣は令和4年度のデータ

## 山口県

品目名	輸出先	品目数	輸出量
精米	台湾、米国	2	—
和牛	米国、カナダ、オーストラリア、台湾、フィリピン、ベトナム、ニュージーランド	8	—
農産加工品	香港、中国、イタリア	3	—
日本酒	香港、中国	57	2,595 kL

※やまぐちの農林水産物等輸出推進会議調べ  
※令和4年度のデータ

## 鳥根県

品目名	輸出先	(千円) 輸出額
加工食品	米国、韓国、台湾等	2,101,692
花き	オランダ、カナダ等	25,885
農産物(米、野菜、果樹)	香港、シンガポール等	71,634
畜産物	香港等	631,554
水産物	ベトナム、タイ等	538,195
木材及び木材加工品	メキシコ、中国等	61,132

※鳥根県調べ  
※令和5年1～12月のデータを集計

## 鳥取県

品目名	輸出先	(千円) 輸出額	輸出量
日本なし	主に台湾、香港、米国	191,308	225 t
柿	主にタイ	1,673	2 t
スイカ	香港	7,862	28 t
※ JA全農とっとり調べ			
和牛	台湾、香港、タイ、マレーシア	84,951	13 t
乳製品	主に韓国、マカオ、台湾	26,420	—
日本酒	主に米国、韓国、中国、香港、ロシア	280,121	—
加工食品 (菓子等)	北米、中国、オセアニア、欧州、韓国、台湾、香港	514,293	—

※ 鳥取県調べ

## 愛媛県

品目名	輸出先	(千円) 輸出額	輸出量
温州みかん	香港ほか7国・地域	52,423	105.8 t
中晩柑	香港ほか5国・地域	65,858	63.4 t
柿	香港ほか1国・地域	616	2.0 t

※ えひめ愛フード推進機構調べ

加工食品	シンガポールほか10国・地域	422,475	
林産物	カナダほか3国	296,065	
水産物	中国ほか7国・地域	3,783,287	

※ 愛のくにえひめ営業本部調べ



## 高知県

品目名	輸出先	(千円) 輸出額
ゆず(果汁含)	フランス、米国、中国等	806,338
水産物 (加工品除く)	中国、ベトナム、香港等	474,823
酒類	米国、中国、韓国等	597,154
その他加工品等	シンガポール、マレーシア、中国等	763,034

※ ジェトロ高知・高知県 貿易実態調査

## 徳島県

品目名	輸出先	(千円) 輸出額	輸出量
農畜水産物 合計	マレーシア、中国等	2,820,817	—
農産物	香港、台湾、シンガポール等	—	735.2 t
畜産物 (牛肉・鶏肉・鶏卵)	マレーシア、香港等	—	327.0 t
水産物	中国、アメリカ、台湾等	1,408,953	—
木材・木材加工品	米国、台湾等	416,051	—
加工食品	EU、タイ、米国等	910,346	—

### 農産物 内訳(主なもの)

品目名	輸出先	輸出量
なると金時	香港、台湾、シンガポール等	547.1 t
ゆず	EU、香港等	2.7 t
すだち	EU、香港、シンガポール	0.4 t
米	香港、米国	149.5 t

※ 徳島県調べ

## 岡山県

品目名	輸出先	(千円) 輸出額	輸出量
もも	台湾、香港等	39,867	25 t
ぶどう	台湾、香港等	1,140,183	506 t
木材 (ヒノキ)	韓国、中国等	342,000	4,175 m <sup>3</sup>

※ 岡山県調べ

## 香川県

品目名	輸出先	(千円) 輸出額
畜産物(オリーブ牛等)	主に米国	227,113
青果物 (いちご、かんしょ等)	主に香港、シンガポール、タイ	150,726
加工食品 (うどん、調味料、日本酒等)	主に台湾	76,582
その他 (盆栽、オリーブハマチ、雑貨等)	主にEU、タイ、中国	20,652

※ 香川県 県産品振興課調べ  
(成約・出荷等に香川県が関与したもの)

## 26産品

中国四国地方

### 【福岡】

八女伝統本玉露  
はかた地どり

### 【佐賀】

女山大根

### 【長崎】

対州そば  
長崎からすみ

### 【熊本】

くまもと県産い草  
くまもと県産い草畳表  
くまもとかか牛  
菊池水田ごぼう  
田浦銀太刀  
八代特産晩白柚  
八代生姜  
くまもと塩トマト  
やまえ栗

### 【大分】

くにさき七島蘭表  
大分かぼす

### 【宮崎】

宮崎牛  
ヤマダイかんしょ

### 【鹿児島】

鹿児島島の壺造り黒酢  
桜島小みかん  
辺塚だいたい  
鹿児島黒牛  
えらぶゆり  
種子島安納いも  
種子島レザリーフファン

### 【沖縄】

琉球もろみ酢  
ぐしちゃんピーマン  
中城島にんじん  
ちんすこう

### 【鳥取】

鳥取砂丘らっきょう  
大山ブロッコリー  
こおげ花御所柿  
大栄西瓜  
伯州美人

### 【島根】

東出雲のまる畑ほし柿  
三瓶そば

### 【岡山】

連島ごぼう  
備前黒皮かぼちゃ

### 【広島】

比婆牛  
豊島夕チウオ  
大野あさり  
福山のくわい

### 【山口】

下関ふく  
美東ごぼう  
徳地やまのいも  
長州黒かしわ

### 【徳島】

木頭ゆず  
阿波尾鶏  
徳島すだち

### 【香川】

香川小原紅早生みかん  
善通寺産四角スイカ  
サヌキ白みそ  
大野豆

### 【愛媛】

伊予生糸

### 【高知】

物部ゆず

### 【滋賀】

近江牛  
伊吹そば  
近江日野産日野菜  
水口かんぴょう

### 【京都】

万願寺甘とう

### 【大阪】

富田林の海老芋

### 【兵庫】

但馬牛  
神戸ビーフ  
佐用もち大豆  
淡路島3年とらふぐ  
揖保乃糸

### 【奈良】

三輪素麺

### 【和歌山】

紀州金山寺味噌  
わかやま布引だいこん  
あら川の桃

### 【岐阜】

奥飛騨山之神寒干し大根  
堂上蜂屋柿  
飛騨牛

### 【静岡】

三島馬鈴薯、田子の浦しらす  
西浦みかん寿太郎  
深蒸し菊川茶

### 【愛知】

八丁味噌  
豊橋なんぶとうがん

### 【三重】

特産松阪牛

### 【新潟】

くろさき茶豆  
津南の雪下にんじん  
大口れんこん

### 【富山】

入善ジャンボ西瓜  
富山干柿  
水見稻積梅

### 【石川】

加賀丸いも  
能登志賀ころ柿、いしり・いしる

### 【福井】

吉川ナス  
山内かぶら  
上庄さといも  
若狭小浜小鯛ささ漬  
越前がに

### 【山梨】

あけぼの大豆

### 【長野】

市田柿、すんき

### 【茨城】

江戸崎かぼちゃ  
飯沼栗  
水戸の柔甘ねぎ  
奥久慈しゃも  
行方かんしょ

### 【栃木】

新里ねぎ  
鹿沼在来そば

### 【東京】

東京しゃも

### 【北海道】

夕張メロン  
十勝川西長いも  
今金男しゃく  
檜山海参  
網走湖産しじみ貝  
ところピンクにんにく  
十勝ラクレット  
浜中養殖うに

### 【青森】

あおもりカシス、十三湖産大和しじみ  
小川原湖産大和しじみ  
つるたスチューベン  
大鱈温泉もやし、清水森ナンバ  
青森の黒にんにく

### 【岩手】

前沢牛、岩手野田村荒海ホタテ  
岩手木炭、二子さといも  
浄法寺漆、甲子柿  
広田湾産イシカゲ貝、西わらび

### 【宮城】

みやぎサーモン、岩出山凍り豆腐  
河北せり、仙台せり

### 【秋田】

大館とんぶり、ひばり野オクラ  
松館しほり大根、いぶりがっこ  
大竹いちじく

### 【山形】

米沢牛、東根さくらんぼ  
山形セルリー、小笹うるい  
山形ラ・フランス

### 【福島】

南郷トマト、阿久津曲がりねぎ  
川俣シャモ、伊達のおんぼ柿  
たむらのエゴマ油、昭和かすみ草

平成27年6月の制度開始からこれまでに、全国150産品が登録。

この他、プロシット ティ パルマ (イタリア)、ルックガン ライチ (ベトナム)、ピントウアン ドラゴンフルーツ (ベトナム)、ドイトンコーヒー (タイ)、ドイチャンコーヒー (タイ)、フアイムン・パイナップル (タイ) も登録されている。

(令和6年1月29日現在)



# 四国地方のGI登録産品



**普通寺産四角スイカ**

生産地: 香川県普通寺市



**大野豆**

生産地: 香川県高松市香川町大野、  
香川町寺井及び寺井町



**香川小原紅早生みかん**

生産地: 香川県全域



**サヌキ白みそ**

生産地: 香川県全域



**伊予生糸**

生産地: 愛媛県西予市



**阿波尾鶏**

生産地: 徳島県全域



**物部ゆず**

生産地: 高知県香美市



**木頭ゆず**

生産地: 徳島県那賀郡那賀町



**徳島すだち**

生産地: 徳島県全域

# 中国地方のGI登録産品

(令和6年8月27日現在)



## 三瓶そば

生産地: 鳥根県大田市三瓶町及び山口町



## 東出雲のまる畑ほし柿

生産地: 鳥根県松江市長出雲町上意東畑地区



## 伯州美人

生産地: 鳥根県米子市・境港市及びその周辺の大山麓(鳥根県西伯郡日吉津村・南部町・伯耆町・大山町・同県日野郡日南町・日野町・江府町)



## 大山ブロッコリー

生産地: 鳥根県西伯郡(大山町、日吉津村、南部町、伯耆町)、日野郡(日南町、日野町、江府町)、米子市



## 大栄西瓜

生産地: 鳥根県東伯郡北栄町・琴浦町、倉吉市



## 鳥取砂丘らっきょう

生産地: 鳥根県鳥取市福部町内の鳥取砂丘に隣接した砂丘畑



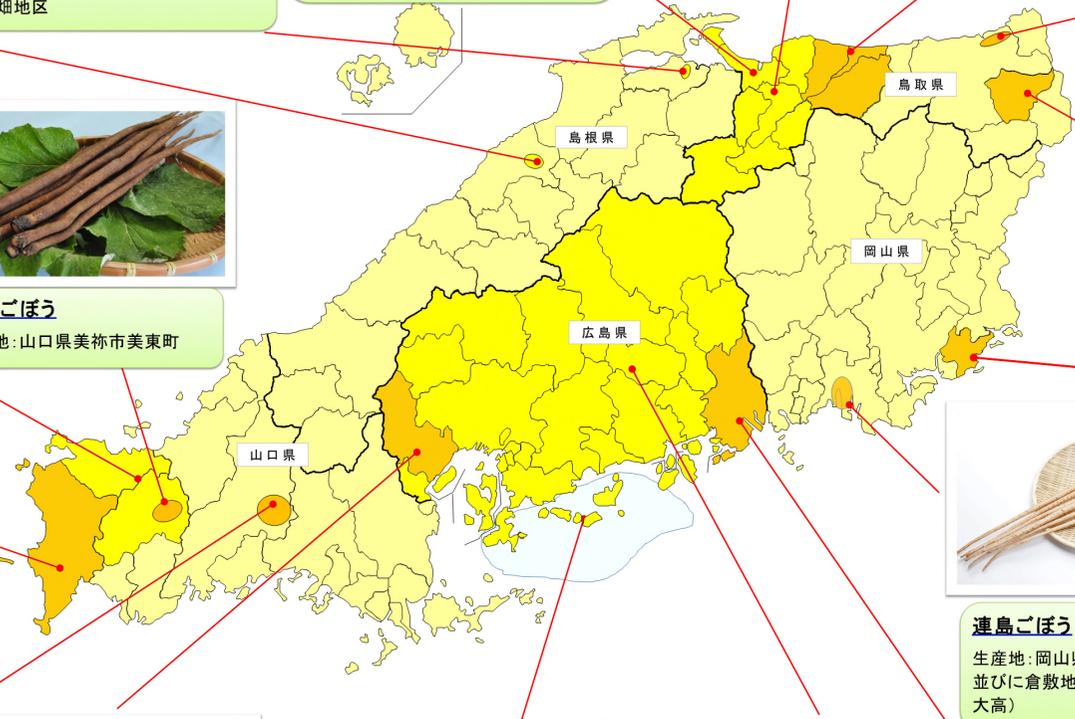
## 長州黒かしわ

生産地: 山口県長門市、美祢市



## 美東ごぼう

生産地: 山口県美祢市美東町



## こおげ花御所柿

生産地: 鳥根県八頭郡八頭町



## 下関ふく

生産地: 山口県下関市及び福岡県北九州市門司区



## 連島ごぼう

生産地: 岡山県倉敷市(水島地域並びに倉敷地域のうち西阿知及び大高)



## 備前黒皮かぼちゃ

生産地: 岡山県瀬戸内市



## 徳地やまのいも

生産地: 平成17年9月30日における行政区画名としての山口県佐波郡徳地町(現山口県山口市徳地地区)



## 大野あさり

生産地: 広島県廿日市市



## 豊島タチウオ

生産地: 広島県呉市豊浜町豊島沖周辺海域



## 比婆牛

生産地: 広島県全域



## 福山のくわい

生産地: 広島県福山市



# 地理的表示保護制度について



「地理的表示保護制度」とは、地域で長年培われた特別の生産方法や  
気候・風土・土壌などの生産地の特性により、  
高い品質と評価を獲得するに至った農産物や水産物などといった  
製品の名称（地理的表示）を国が登録し、  
地域の共有財産として保護する制度です。地理的表示  
として登録が認められた製品には、  
地理的表示と併せて GI マークを使用することができます。

※GIは「地理的表示 = Geographical Indication」の略称です